



いちご一会国体へのご協力ありがとうございました！

10月1日から10月11日まで「いちご一会とちぎ国体」が、10月29日から31日まで「いちご一会とちぎ大会」(全国障害者スポーツ大会)が開催されました。本市としましては、多くの選手やボランティアを迎え、大会を実施することができたことは大変喜ばしいことです。

学校におかれましても、応援のぼりやプランターの準備、当日の観戦等、お世話になりありがとうございました。子どもたちにとって思い出に残る行事になったことと思います。先生方のご協力に感謝いたします。

市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更となる場合があります。

11月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 市小学校陸上記録会 栄養教諭・学校栄養職員 研修 13:30	3 文化の日	4 小中一貫の日 (二中区)	5 細谷小創立 150周年記念 式典
6	7 特別支援教育推進研究 ④14:00	8 下都賀地区主幹教 諭・教務主任研修会 (南河内公民館)13:30	9 就学時健診(緑小) 市小学校陸上記録 会予備日	10	11 児童表彰 (石北小・細谷小) 県新人大会~13日 運動会(石小)	12
13	14 児童表彰 (南河内小中)	15 養護教諭部会 14:00	16 S&U(二中)	17 就学時健診(祇園小) 教育委員学校訪問 (石橋小) 下都賀地区人権教育研 修会(栃木市岩舟文化会 館・岩舟公民館)13:30 修学旅行~18日 (石北小)	18 運動会(古山小) 定例教育委員会	19 運動会 (国東小)
20	21 S&U(南河内小中) コミュニケーションデー (国中)	22	23 勤労感謝の日	24 定例校長会議 8:30 教育委員学校訪問 (南河内小中)	25 学校図書館活用研究 ③14:30 コミュニケーションデー (南河内小中・後期) S&U(古山小)	26
27	28 社会科副読本活用 研究⑤15:00	29 共同訪問(二中)	30 小中一貫の日 (石中区)			

下野市いじめ防止強調月間

よろしくお願いします

11月は、「下野市いじめ防止強調月間」です。本年度からスタートしたこの取組は、6月と11月の2ヶ月を、下野市の大人や子どもが、いじめについて考えたり、話し合ったり、いじめ防止に取り組んだりすることを強化する期間とし、子どもたちが一層安全・安心に過ごせる環境づくりを行うものです。

初年度の今年度は、下野市子ども未来プロジェクトの呼びかけにより、全ての学校で「いじめ」をテーマに話し合い、いじめについての理解を深めています。強調月間である11月には、学校独自の工夫した取組が実施されます。今後、市、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、下野市全体で「いじめをしない、させない、見逃さない」正しい判断のできる子どもの育成に一層力を入れていきます。ご協力をよろしくお願いします。

幼小連絡協議会第3回研修会(認定こども園 愛泉幼稚園 公開保育)

10月27日(木)、認定こども園 愛泉幼稚園において、標記研修会を開催しました。年長児(ゆり組、きく組)の保育を公開していただきましたが、ゆり組ときく組では活動内容が異なりました。それは、「動物園を作りたい」「動物図鑑を作りたい」という子どもたちの思いや願いから活動が展開されたからです。活動が始まってからも、子どもの「～したい」という発言を教師が聞くことで方向性を決めたとのことでした。自分たちの思いや願いが詰まった活動をしている子どもたちは、集中して主体的に活動に取り組んでいました。

この活動の進め方は、生活科の学習の特質「児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動にすること」と大変似ており、幼小の学びが繋がっていることが分かります。学びのつながりは、小・義務教育学校前期課程におけるスタートカリキュラムの中でも大切にしていきたいものです。

幼小連携推進者養成研修を受講した国分寺小学校の佐々木葉子先生と愛泉幼稚園の矢内淳子先生によるジョイントカリキュラムについての発表、県総合教育センターの天川先生の講話をいただきました。幼小の相互理解・実践の重要性を確認することができました。

研修会の振り返りより

- ・常に子どもの「何がしたいか」を確認し、子どもの思いを引き出していたことに感銘を受けた。このような体験を積んでいる幼稚園教育をつないでいくことの重要性も実感した。
- ・教師が教えるのではなく、子どもたちが主体となって考え、試行錯誤し自分のイメージに近づけていると思った。対話を通して学びを深めたり広げたりしていると思った。



ゆり組「動物図鑑を作ろう」

(ねらい)

- ①友達と共通の目的に向かって考えを伝え合いながら制作を進めていく。
- ②様々な素材に触れ試したり工夫したりして、イメージしたものやアイデアを表現する楽しさを感じる。

きく組「動物園を作ろう」

(ねらい)

- ①友達と共通の目的、イメージを共有し、協力しながら活動する。
- ②友達と意見を交わしながら、試行錯誤し取り組む。

第13班 テーマ：自分で考え、判断する。

幼児期・年長後半	子どもの姿	【保育者・教師が大切にすること】	【大切な経験や活動】
入学	やってみよう どうしてかな	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことを見付け、発見を楽しみながら経験できる環境作りをすること。 ・身近な環境に触れることで、不思議さに気付いたり、調べたり、考えたりして、多くを学べるようにすること。 ・自分の考えや想いを伝え合い、話し合うことができるようにすること。 ・子どもの「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」のどの部分が育っているのかを照らし合わせながら考えていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色水遊び(光遊び) ・収穫体験(お米・さつまいも) ・調理体験(梅・しそジュース作り、カレー作り) ・行事(運動会、発表会、お店屋さんごっこ) ・チャレンジ活動(こま回し・けん玉) ・アサガオの栽培活動 ・学校探検 ・係活動 ・当番活動 ・清掃 ・クラス遊び ・ペア学習 ・グループ活動 ・話し合い活動
一年生・入学当初	しらべてみよう ためてみよう どうしたらいいかな やってみよう うまくできたよ	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識や相手意識をもたせる課題を設定し、主体的な活動を促すこと。 ・子どもの考えを認め、励ます言葉掛けをすること。 ・今までの体験・既習内容を生かして考え、活動につなげるようにすること。 ・自分と友達の意見を比較することで共通点や相違点に気付き、新しい考えをもてるようにすること。 ・子どもの考えをつなげたり広めたりすること。 ・失敗を恐れず、試行錯誤ができる言葉掛けをすること。 ・できるようになったことや成長した自分に気付かせ、成功体験を積み重ねること。 	

目指す姿：やってみよう！できたよ！みつけたよ！もっとやってみよう！



←「ジョイントカリキュラムの作成を通して」と題し、佐々木先生と矢内先生に発表いただきました。